

ゼミナール紹介

担当者名	井徳正吾
e-mail アドレス	itoku@shonan.bunkyo.ac.jp
研究室	3410
在室曜日・時限	毎週木曜日 4限 (15:00~16:30)
個別説明会 (日時・場所)	随時、研究室にて (事前予約をもらえれば、ゼミ生を待機させます)
ゼミ見学可能日 (日時・場所)	毎週、水曜日 10:00~12:30 4303 教室 見学はいつでも自由です。好きな時に来てください
選抜方法	定員を超えたら面接
ゼミナールに 関連する科目	「マーケティング・コミュニケーション論」や「コミュニケーション・プランニング論」を履修していることが望ましい。
2019 年度担当科目	「マーケティング・コミュニケーション論」、「コミュニケーション・プランニング論」、「広告概論」、「マーケティング・リサーチ」、「コミュニケーション・メディア論」、「キャリア研究」「テレビコマーシャル論」、「コンテンツ発想法」など
授業概要	<p>広告を始めとするマーケティング・コミュニケーション戦略の立案を学ぶことを目的とした授業です。マーケティング・コミュニケーションですから、広告やPRや、セールスプロモーションや、商品開発、デザイン・ロゴマーク、キャラクター開発なども行います。</p> <p>実践的であることを重要視し、ビジネス界で使える企画書やプレゼンテーションの仕方を高いレベルで学びます。実践的であるために、神奈川県が主催する企画コンペにエントリーし、企業からテーマを戴いて、その企業に企画のプレゼンテーションを行うことに取り組んでいます。コンペを通じ、神奈川県内の他校と争う中で、自分たちのレベルを上げていきます。</p> <p>コンペが終了後には、毎年、地元の企業から依頼されたテーマに、3年生だけでなく4年生も混在した合同チームで、みんな一緒にテーマに挑戦しています。そんな中から先輩後輩の絆を結び、豊かな人間形成を目指します。</p>

ゼミナール紹介

担当者名	岡野雅雄
e-mail アドレス	okano@shonan.bunkyo.ac.jp
研究室	3210 室
在室曜日・時限	2019 年度は在外研修中のため、残念ながら不在です。
個別説明会 (日時・場所)	上述の理由により、個別説明会は行いませんが、メールで質問等にお答えします。
ゼミ見学可能日 (日時・場所)	上述の理由により、2019 年度はゼミ非開講のため、残念ながらゼミ見学の機会がありません。
選抜方法	もし定員以上となったら、ゼミ内容と志願理由の適合性および成績によって選抜します。
ゼミナールに 関連する科目	記号論、コミュニケーション論基礎、言語コミュニケーション論
2019 年度担当科目	記号論、コミュニケーション論基礎、言語コミュニケーション論、プレゼミナールA、ゼミナール、卒業研究 (※2019 年度は在学研修のため担当科目はなし。上記は過去の担当科目。)
授業概要	<p>◆本ゼミナールの<u>基本的なテーマ</u>は、「言語あるいは記号によるコミュニケーション」です。</p> <p>最終的な到達目標は、<u>各自の設定したテーマについて必要な資料やデータを集めて分析し、論文を作成する能力を身につけること</u>です。</p> <p>「卒業研究」で論文を書くことを前提にゼミを進めてゆきますので、ゼミ選択の際には注意してください。</p> <p>◆ゼミナールの<u>具体的な進め方</u>は、以下のとおりです。</p> <p>春学期は、コミュニケーションに関する本を購読します。そして、その内容にもとづいて発表し、討議します。秋学期は、より卒論を意識して情報収集・購読・討議を行います。</p> <p>その過程で、以下にあげるような知識・技能を身につけます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レジュメ作成の方法、口頭発表の仕方、新聞、雑誌記事の検索、調査結果のまとめ方、グラフや表の作成、問題発見(リサーチ・クエスチョンの設定)、等

ゼミナール紹介

担当者名	加藤綾子
e-mail アドレス	説明会等の際に伝達する
研究室	6208
在室曜日・時限	原則として水曜日の昼休み(授業時に確認してください)
個別説明会 (日時・場所)	10月10日(木)と11日(金)の昼休み 12:40~13:05 頃 4203 教室 (予約不要・飲食可) ※ゼミ履修希望者は、ゼミ見学日または個別説明会にて直接相談をしてください。 <small>見学や説明会に来られない場合のゼミ選択に関する質問：edu-gakusei まで。</small>
ゼミ見学可能日 (日時・場所)	10月中の水曜日 2 限の 11:15~12:15 頃, 7402 教室 (予約不要・入退室自由) ※7号館1階エレベーター横のスペースにて過去のゼミ生(3年次)の成果物を展示中.
選抜方法	志望理由書, 面談, 成績をもとに総合的に判断する.
ゼミナールに 関連する科目	下記科目
2019 年度担当科目	卒業研究, ゼミナール, プレゼミナールB, 広告企画演習, コミュニケーション倫理・法制 (=パーソナルデータ倫理・法制), 広告産業論, 情報学特殊講義B, 著作権ビジネス論
授業概要	このゼミナールでは, 情報・メディア・コンテンツ・広告などに関する基礎的な文献 講読を行い, その上で, 各自がテーマを定めて調査・分析・報告を行う. 本ゼミナール のアプローチは社会科学系の手法に則る. 学生は毎回, 文献の担当箇所や各自の進 捗状況について報告を行う. 最終報告の形式は, 論文の体裁をとったレポートとプレ ゼンテーションの双方を予定している. これらの作業を通じて, デジタル化・ネット ワーク化などの変化が生じるなかでこの分野の産業やビジネス, 企業, 消費者, 財・ サービス, 法制度などがいかに変容しているのかを考え, 卒業研究につなげていくこ とを目標とする.

ゼミナール紹介

担当者名	酒井 信
e-mail アドレス	wayne80@shonan.bunkyo.ac.jp
研究室	3401
在室曜日・時限	月火水
個別説明会 (日時・場所)	10月15日、16日の12:40~13:05 場所:3401 研究室
ゼミ見学可能日 (日時・場所)	10月9日(水)、16日 場所:4301 教室 入退室は11:30と12:00に可能 *参加する場合は前日の24時までにメールすること(事前の情報伝達のため)。
選抜方法	希望者が定員を上回った場合のみ、面談、志望理由、学内外の活動、成績、将来性を総合的に評価し、選抜。
ゼミナールに 関連する科目	基礎演習 A、プレゼミナール A、文章演習 I II
2019 年度担当科目	ゼミナール、卒業研究、基礎演習 A、プレゼミナール A、文章演習 I II、ジャーナリズム論、現代メディア史、小説・評論演習
授業概要	<p>少人数による専門性の高い演習形式の授業である。内容は、各教員の専門によって特化したものになる。理論系のゼミナールでは、各自の設定したテーマについて必要なデータを集めて分析し、論文を作成し、口頭発表する能力を身につける。制作系のゼミナールでは、雑誌・ポスター・CG 作品など、各種メディアにおけるコンテンツ制作を行う能力を演習を通じて身につける。</p> <p>なお本ゼミでは、Media Studies (メディア研究) や Journalism Studies (ジャーナリズム研究) に関する新しい研究成果を踏まえて、Web 上のメディアを含めた活字メディアを中心としたコンテンツ分析・研究を主とした演習を行う。年度毎にテーマを定め、同時代の社会事象に関する分析も行い、文章や制作物としてその成果を反映させる。ゼミでは冊子物の制作やニュースパーク (日本新聞博物館) の展示などの活動も行い、同時進行でメディア文化論に関する書籍を読み、広義のメディア社会学に関する知識を身に付ける。その他、神奈川県 (特に湘南地方) を舞台としたコンテンツについての取材・分析も行う。外部のメディア関係者、OG・OB のメディア関係者とコミュニケーションをとる機会も用意する。各課題を通して、手を使って活字を漁り、足を使って様々な人や場と関わり、頭を使ってその成果を論理的にまとめ上げるトレーニングを積んでほしい。</p>

ゼミナール紹介

担当者名	竹林 紀雄
e-mail アドレス	noritake@shonan.bunkyo.ac.jp
研究室	3411 号室
在室曜日・時限	ゼミ志望者へは水曜日 2 時限目終了後に 3 号館 1 階の 3114 教室で対応
個別説明会 (日時・場所)	個別説明会 10/2 (水) 11:30~16:30 場所未定 10/9 (水) 11:30~12:30 16:00~17:00 場所未定 10/23 (水) 11:30~12:30 16:00~18:30 場所未定 <u>※希望者一人ひとりに竹林が直接お会いして説明しますが、他の業務と時間調整をしながら行いますので、必ず、メールで予約をしてください。場所はメールで伝えます。</u>
ゼミ見学可能日 (日時・場所)	※基本的に 2 時限目に対応 10/2 スタジオ A (3、4 年生合同でスタジオ収録リハーサル) 10/9 スタジオ A (3、4 年生合同でスタジオ収録本番) 10/23 スタジオ A (3、4 年生合同でスタジオ収録本番) <u>※収録中のスタジオは収容人数に限りがあります。</u> <u>ゼミ見学を希望する場合は、必ず竹林にメールで予約をしてください。</u>
選抜方法	志望者は原則的に受け入れます。ただし、定員を上回った場合は面接、簡単な試験等により選抜します。
ゼミナールに関連する科目	3 セメスターまで ○演習系科目 「映像表現Ⅰ」、「映像ポストプロダクション演習」、「映像技術演習」、「テレビ企画構想演習」、「テレビ構成演習」 4 セメスター以降 ○演習系科目 「映像表現Ⅱ」、「テレビ番組制作 (スタジオ)」、「アニメーション制作 C (アート表現)」 ○講義系科目 「ドキュメンタリー論」、「映画史」、「映像表現論」、「映像プロデュース論」 <u>特に演習科目の「映像表現Ⅰ」、「映像表現Ⅱ」、講義系科目の「映画史」、「映像表現論」、「ドキュメンタリー論」は竹林ゼミナールにつながる科目です。</u>
20 年度担当科目	「卒業研究」、「ゼミナール」、「映像表現Ⅰ」、「映像表現Ⅱ」、「ドキュメンタリー論」、「映像表現論」、「映画史」、「映像プロデュース論」、「テレビ番組制作 (スタジオ)」、「プレゼミナール A」、「コンテンツ・プロデュース」、「映像メディア特論」(大学院)、「情報学特別演習Ⅰ」(大学院)
授業概要	竹林ゼミナールでは、在京テレビ局をはじめ映像業界と連携し、テレビ・映像分野全般のプロフェッショナル育成を視野に入れた映像表現教育を行う。具体的には、様々なジャンルの独創的な映像作品を鑑賞し、映像表現への理解を深めると共に、映像作品の制作に取り組む。課題作品の制作に臨むにあたってゼミ生に求めるのは、これを課題として捉えるのではなく、対外的にも「作品」として主張できるものを手掛ける姿勢をもつことである。優れた作品は、映画祭や映像フェスティバルに積極的に橋渡しをする。ゼミの課外活動としては、日本テレビやフジテレビ等で行うテレビ局研修。テレビ局内の様々な放送施設を見学し、局内のスタジオやサブルームで生放送番組を体感する研修である。また、ゼミ生全員参加で毎年実施する合宿形式の研修も行う。今期も 3 泊前後で国際的な映画祭などへ参加する予定である。この他にも、主に都内での映像作品の鑑賞や映像フェスティバルへの参加、またテレビ業界や映画業界の第一線で活躍する方々との交流も予定している。さらに、学外での取材・ロケの実習を日常的に行う。このように、ゼミ活動に時間を要するので、部活動やサークル、アルバイトなどで忙しい方には向かないゼミである。

ゼミナール紹介

担当者名	日吉 昭彦
e-mail アドレス	hiyoshi@shonan.bunkyo.ac.jp
研究室	5405 hiyoshi lab.
在室曜日・時限	火曜日（2限&5限は授業です） 水曜日 金曜日（2限&4限は授業です）
個別説明会 （日時・場所）	<p>個別の説明会： 9/25（水）1-2限、10/2日（水）1-2限、10/9（水）1-2限、10/16（水）1-2限 @1207教室 ←1限は4年生が説明、2限は3年生が説明します。</p> <p>個別説明会以外でも、気軽に研究室（5405）までご相談にいらしてください。随時開催します。その場合、メールで事前連絡があると確実ですが、ふらりと立ち寄ってくださっても構いません。放課後もOK （なお、メディア表現学科以外の方は、必ず事前に研究室を訪問の上、面談を受けてください）</p>
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	上記個別説明会と同様 （場所はそれぞれ 1207 教室）
選抜方法	定員を超えた場合は、プレゼンテーションを行う予定です。詳しくは別途連絡します。 （なお、メディア表現学科以外の方がエントリーした場合は、必ずプレゼンテーションが行われます）
ゼミナールに 関連する科目	社会調査の関連科目はゼミで役立ちそうです。ゼミの成果はフリペ風に出版するので、デザインや編集などが好きな方はウェルカム！過去にはドキュメント制作をしたこともあるので、映像編集ができる方も重宝ですね。あと・・・社会学概論も(^)v
2019 年度担当科目	社会学概論 メディア社会学 社会調査論 メディア調査研究法Ⅲ メディア効果論 メディアの内容分析 プレゼミナールB ゼミナール 卒業研究 大学院
授業概要	<p>本ゼミナールは、メディア社会学やマス・コミュニケーション論、メディア文化論などの分野を専門としたいみなさんと、さまざまなメディア研究を行うゼミです。</p> <p>ゼミナール活動の中心は、1)「テレビ番組の分析」、2) テーマと関連する「取材活動（フィールドワーク）」のどちらか、または両方で、一つのテーマのもとに共同研究を行います。</p> <p>分析するTV番組は、ドラマやバラエティ、CM、スポーツ中継、アニメ、音楽番組、CATV、インターネットTVなど多種多様です。また、フィールド研究のテーマは、地域および観光活性化の取り組みのなかのメディアや広報活動の役割に関するものが多い傾向にあります。</p> <p><u>フィールドの選定や、どのようなテーマで分析を進めるのかについては、受講生のみなさんの関心に沿って、みなさんが主体的に考えて決めていきます。</u></p> <p>共同研究を通じて、メディア・メッセージの分析方法である「内容分析」の方法を身に付け、将来的には多角的な現代社会のメディア（たとえば、ソーシャルメディアなど）を専門的に分析でき、社会でその方法を活用（たとえば、メッセージを分析したビッグデータをマーケティングに利用するなど）できるようになることが目標です。また、フィールドワークを通じて、インタビュー取材の技術を身に付けるとともに、将来のキャリアに備えた社会的なコミュニケーション能力を身に付けることも合わせて目標とします。</p> <p>ゼミナールでは毎年、研究成果を出版物の形で公開しているので、メディア制作活動もゼミナールの中心的な活動の一つです。</p>

ゼミナール紹介

担当者名	藤掛正邦
e-mail アドレス	fujikake@shonan.bunkyo.ac.jp
研究室	5407
在室曜日・時限	月 4 限(オフィスアワー)。面談メール予約は前日まで fujikake@shonan.bunkyo.ac.jp
個別説明会 (日時・場所)	メディア表現学科生へ：個別説明会なし。メディア表現学科主催「ゼミ説明会」(10月9日(水)12:35~13:15)で詳しく説明する。 情報システム学科生&情報社会学科生へ：上記「ゼミ説明会」終了後、プレゼンのスライドと資料を、「public」→「Jugyo」→「Joho」→「藤掛ゼミ説明」に入れます。年間スケジュールと内容のアウトラインが理解できる。
ゼミ見学可能日 (日時・場所)	メディア表現学科生と情報システム学科生&情報社会学科生の皆様へ 9/25、10/2、10/9、10/16、(水)2限。ゼミ見学教室は7403 PC 教室(入退出自由)。藤掛ゼミに興味ある方は見学にいらしてください。見学出席表に氏名を記入し、18名のゼミ生達の制作(熱海合宿パンフ)の様子をご覧ください。(何回でも見学可能)
選抜方法	1. 面談：5407 藤掛研究室。一人 10 分程度。日時はエントリー学生へ一斉メールする。 2. 作品：大学入学後に授業や自主的に制作したデザイン作品などを面接時に提出。広告デザイン、パンフなど冊子デザイン、ロゴマーク、イラスト、写真、CG、Web、CM、PV、ゲーム、アニメ、TV 映像、など幅広いジャンルを含む。作品は、クリアファイル冊子に整理して入れる。冊子を拝見しながら、質疑応答を行う。 3. GPA 評価：教育支援課から入手して参考にする。 4. メディア表現学科生合格者は、20 名以内とする。 5. 情報システム学科生+情報社会学科生の合格者は、3 名以内とする。 選抜方法についての質問や相談は、 fujikake@shonan.bunkyo.ac.jp まで
ゼミナールに関連する科目	「デザイン論」
2019 年度担当科目	「情報表現デザイン」「広告表現Ⅰ・Ⅱ」「プレゼミナールC」「デザイン論」
授業概要	少人数による専門性の高い演習形式の授業である。内容は、各教員の専門によって特化したものになる。理論系のゼミナールでは、各自の設定したテーマについて必要なデータを集めて分析し、論文を作成し、口頭発表する能力を身につける。制作系のゼミナールでは、雑誌・ポスター・CG 作品など、各種メディアにおけるコンテンツ制作を行う能力を、演習を通じて身につける。本ゼミナールは、コミュニケーションとメディアをキーワードに、専門性の高い広告デザインと編集デザインで発想・感性・技術を鍛錬する。グラフィックデザインや、広告・広報・PR の基本的な考え方を理解し、発想・感性・技術を習得することでコミュニケーション・デザイン能力を高める。到達目標は、①デジタル技術をさらに深化させる。②誰も考えない発想を生み出す。③美しい美術やデザインを読み解く美意識を磨く。④考え抜く習慣を身につける。⑤全員で協力し、コミュニケーションとチームワークを鍛える。⑥制作課題を通じて、各自の中に眠っている、表現の萌芽を発見する。 ゼミ授業計画(予定)は、1. ショッピングデザイン、2. 広告デザイン 1、3. 広報冊子編集(9月合宿撮影取材)、4. 販売促進ポスター、5. ポートフォリオ(ゼミ作品集)。

ゼミナール紹介

担当者名	村井 睦
e-mail アドレス	https://sites.google.com/a/shonan.bunkyo.ac.jp/murai/ を確認
研究室	3409
在室曜日・時限	https://sites.google.com/a/shonan.bunkyo.ac.jp/murai/ の office hour を確認
個別説明会 (日時・場所)	説明会はおこないません。 ゼミの説明を希望する皆さんへは個別面談をおこないます。 *メールにてアポを取って下さい。
ゼミ見学可能日 (日時・場所)	見学日は9月25日以降となります。教室などの詳細は未定のためメールにて連絡してください。
選抜方法	選抜方法は面接やGPAなどを総合的評価し選抜します。
ゼミナールに関連する科目	なし
2019年度担当科目	基礎演習 B、プレゼミ A、インタラクティブメディア概論、情報表現デザイン、クリエイティブ演習、Webデザイン
授業概要	<p>少人数による専門性の高い演習形式の授業である。内容は、各教員の専門によって特化したものになる。理論系のゼミナールでは、各自の設定したテーマについて必要なデータを集めて分析し、論文を作成し、口頭発表する能力を身につける。制作系のゼミナールでは、雑誌・ポスター・CG作品など、各種メディアにおけるコンテンツ制作を行う能力を演習で身につける。</p> <p>本ゼミナールでは、新しい技術を積極的に取り入れ、旧来からの表現の枠にとらわれない新しい視覚伝達の領域を模索していく。映像・紙・Webなどのメディアを横断的に学ぶ事により総合的な表現力や情報発信力を習得する事を目的とする。またグループワークを多く取り入れてコミュニケーション能力を高める事も重要な学習目的となる。</p> <p>*詳細は下記を参照してください。 https://sites.google.com/a/shonan.bunkyo.ac.jp/murai/</p>

ゼミナール紹介

担当者名	新任 B (ソーシャルメディア)
e-mail アドレス	
研究室	
在室曜日・時限	
個別説明会 (日時・場所)	
ゼミ見学可能日 (日時・場所)	
選抜方法	GPA (100 点) : GPA の値を 100 点満点に換算して採点する。
ゼミナールに 関連する科目	
2020 年度担当科目 (予定)	デジタルメディア論、コンテンツ発想法、基礎演習、文献講読、情報学特殊講義 A、 プレゼミナール 等
授業概要	2020 年 4 月着任予定。 個別相談は、学科長の井徳、または教務委員の村井が代わりに実施します。

ゼミナール紹介

担当者名	新任 C (出版)
e-mail アドレス	
研究室	
在室曜日・時限	
個別説明会 (日時・場所)	
ゼミ見学可能日 (日時・場所)	
選抜方法	GPA (100 点) : GPA の値を 100 点満点に換算して採点する。
ゼミナールに 関連する科目	
2020 年度担当科目 (予定)	出版論、出版演習、(雑誌文化論)、インタビュー・取材演習 (インタビュー・取材論)、 記事制作 A、基礎演習 A、プレゼミナール A 等 ※ () 内の科目は 2017 年度以前入学生対象科目
授業概要	2020 年 4 月着任予定。 個別相談は、学科長の井徳、または教務委員の村井が代わりに実施します。